

臨床研究情報

当院で膿胸の手術を受けられた患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院呼吸器外科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

外科的膿胸術後の遷延入院を予測する新規スコアリングシステムの開発と内部妥当性検証

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 呼吸器外科

研究責任者

大下 冬馬

研究の意義と目的

膿胸（胸の中に膿がたまる病気）は、手術による治療が必要になることがあります。手術後の入院期間は患者さんによって大きく異なりますが、どの患者さんが長期入院になりやすいかを事前に予測する方法は、これまで確立されていませんでした。

現在広く使われている「RAPID スコア」という指標は、膿胸患者さんの死亡リスクを予測するために作られたものであり、手術後の入院経過を予測する目的には十分に検証されていません。

本研究では、当院で膿胸の手術を受けた患者さんの診療記録をもとに、術後の入院が長くなりやすい患者さんの特徴を調べます。その結果をもとに、手術前に入院期間を予測できる新しい評価方法の開発を目指します。

この研究の成果により、手術のタイミングや術後ケアを患者さんごとに最適化できるようになり、より安全で効率的な医療の提供につながることが期待されます。

対象となる方

2014 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日まで NTT 東日本関東病院呼吸器外科の外来を受診し、原発性肺癌の手術を受けられた方

実施方法

データ収集

- 1) 収集元：診療録
- 2) 特定の個人を識別することができないような情報の加工の有無：有
- 3) データ収集の方法：診療録から必要事項を抽出し、Excel 等を用いてデータベースを作成する。

研究に用いる情報の種類

- 1) 臨床所見（年齢、性別、body mass index、喫煙指数、併存疾患、臨床的腫瘍径、臨床病期）
- 2) 血液所見（術前の白血球数、好中球数、尿素窒素）
- 5) 胸部 X 線検査、CT
- 6) 手術関連（術式、アプローチ、手術時間、出血量）
- 7) 術後合併症（種類、程度）
- 8) 予後（入院期間、生存期間、再燃の有無、死亡の有無）

実施期間

倫理申請承認後～2027 年 03 月 31 日

個人情報の取り扱い

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、扱うことはございません。ただし、ID と紐づけされた対応表は作成しておき、研究不参加を表明された患者様の除外のために利用させていただきます。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本件急に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

費用

患者さんに費用を負担していただく必要はありません。

利益相反

特にありません。

同意の撤回

ご本人または、その代理人の求めがあれば情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合には、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 呼吸器外科 日野春秋

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111（代表）